

山陽公民館だより

2024年(令和6年)
12月号



山陽公民館のテーマ「夢」

今月の論語

子曰く、先ず其の言を行い、而る後に
之に従う。

(意味) 立派な人は、まず実行する、言葉はその後だ。

「実行が先！ 言葉は後！」という章句です。優れた人は、人にあれこれ言う前に実際に自分でやってみて、それが上手いくことを証明してみることで信用を得ます。何事か成し遂げるにはまず行動があり、言葉や理屈は後からついてくるのですね。口だけで行動しない人は、周囲からの信頼を失ってしまいます。口であれこれ、もっともらしいことを言う前に、まず実行しなさい、と孔子は教えてくれています。反省しました…。

主催講座のご案内Ⅰ

■講座「模擬観光旅行 ～金沢までの城巡りの旅」

バスガイドさんによる模擬観光旅行で、新たな見聞を広め、模擬旅行先の景観や名勝を楽しみませんか。金沢名物の和菓子も付いています。

日 時 12月22日(日)
午前9時30分～11時30分
案内者 岡村真美さん(バスガイド)
対 象 一般(15名)
参加費 300円(和菓子付き)
受付開始 11月18日(月)



主催講座のご案内Ⅱ

■講座「そば亭やよい」

今年度第4回目となる今回は、年越しそばを提供します。ぜひ、ご賞味ください。

日 時 12月23日(月)
午前11時～午後1時
講 師 小谷敬子さん(山陽手打ち蕎麦の會)
対 象 一般(40名)
参加費 400円(一人1食)
受付開始 11月18日(月)



主催講座のご案内Ⅲ

■講座「冬休み宿題お助け教室」

冬休みの宿題をお手伝いします。
2学期にむづかしかった勉強の復習や3学期の予習もできます。

日 時 12月26日(木)、27日(金)
午前9時30分～10時30分
講 師 公民館職員(元小学校校長)
対 象 小学生(10名)
参加費 無料
持ち物 宿題
受付開始 11月18日(月)



復習・予習したい教科書など

講 座 報 告 I

■講座「きれいに編める布ぞうり講座」

10月5日(土)

講師に山陽公民館グループ「楽しいウクレレ教室」の岡本さんをお迎えし、布ぞうりづくりの講座を開催しました。

布ぞうりは足指を使って履くため、足指の筋肉が鍛えられ、外反母趾(がいはんぽし)や扁平足(へんぺいそく)など、足のトラブルが改善すると言われています。また、布が汗を吸い取ってくれるので気持ちの良い履き心地が特徴です。さらに、古布などのはぎれ布を使うと自然に優しい生活にもつながります。静かなブームの中、大人気の講座となりました。

講座では、まず、講師が布の編み方や道具の使い方などについて実演しながら説明し、参加者も一つ一つの手順を確認しながら、専用の道具を使ってはぎれ布を編んでいきました。「力加減が難しいわ」「しっかり締めた方がいいのかしら」など、試行錯誤しながらの製作となりましたが、素敵な布ぞうりが次々に出来上がりました。「予想以上のぞうりが編めたわ」「履き心地がとてもよさそう」「楽しい時間だったわ」など、ほのぼのとした講座になりました。



範を示す



しっかり締めて



よく見て



丁寧に



「こうやって」



「素敵でしょ！」

講 座 報 告 II

■講座「日本画講座

～岩絵具で花を描こう～

10月13日(日)

講師に県展委嘱の的場さんをお迎えし、日本画講座を開催しました。この講座は四回の連続講座となっていて、日本画の基礎をじっくり学んだ上で、一つの作品を仕上げようというものです。

第一回は、日本画の特徴、画材などの使い方、大まかな工程、手順などの講義・説明から始まりました。初めて見る道具も多く、実物を手に取りながら、講師の説明に耳を傾けました。時折、疑問などを質問し、その都度、さらに詳しく説明を加えてもらい、活動への意欲を高めることができました。

その後、実技が始まり、まず、下地となる水干(すいひ)絵具を膠液(にかわえき)で溶いていました。ざらざらとした質感が特徴ですが、溶き方や混ぜ方が不十分だと絵の具のかたまりが残ってしまい、質感に影響するため、絵の具や水、膠液などの割合に気を付けながら、丁寧に作業を進めました。その後、溶いた桃色の絵の具を下地の一層目に塗り、乾かしている間に二層目に使う水色の下地の準備を進めました。その合間にも、

「下地の色に決まりはあるのですか」「モチーフとなる花の図案をどのように転写するのですか」など、さまざまな質問が出されました。その後、二層目も塗り終え、今回の講座は終了しました。

終始、和やかな雰囲気の中で、素敵なお時間を過ごすことができました。次回が楽しみです。



日本画を学ぶ



丁寧に



よく見て



ドキドキ

講座報告Ⅲ

■講座「寒蘭の育て方講座 ～日本の野生蘭～」

10月20日（日）

講師に元小学校長の港高明さんをお迎えし、寒蘭の育て方講座を開催しました。

寒蘭は、東洋ランの一つで、とても人気がありますが、一方で、「値段がとても高いのでは」

「育てるのが難しいのでは」「枯れてしまったらどうしよう」など不安の声もよく耳にします。そこで、講座では、寒蘭の生態や歴史、社会的価値などについての講義から始まりました。

寒蘭についての理解を深めた後、いよいよ育て方についての説明を聞きました。講師の実演を観ながら、寒蘭の植え替えや株分けのコツやポイントを理解しました。滅菌のため、バーナーではさみをあぶった場面では「そこまでやるんですね」と驚きを持って見入っていました。

さらに、寒蘭の育て方に留まらず、寒蘭を通して豊かな人生を過ごす意義まで幅広い講義がありました。「へえ～、繊細だけど大胆な育て方が必要なのね」「このまわりの山にも寒蘭が咲いているなんて初めて知ったわ」「同じ趣味の人たちと植物談義をするもの楽しいわね」「私も植物を育てながら心豊かに暮らしていきたいわ」など、とても盛り上りました。

最後に、参加者は、講師から一人一鉢ずつ寒蘭を譲り受け、大切に持ち帰りました。みなさんが寒蘭の世話を通して、新たな愉しみに出会えますように…。



実演しながら



「ポイントは?」



流木に植える



「どれにしようかな」

講座報告Ⅳ

■講座「避難訓練・防災講座」

10月25日（金）

講師に赤磐市消防本部予防課長の野波さんと予防課の新谷さん、赤磐市消防団女性部の団員のみなさんをお迎えし、避難訓練・防災講座を開催しました。

まず、火元を調理研修室とし、職員の誘導により、グループ活動をしていました約40名のみなさんが避難を行いました。それぞれの部屋で活動している最中に、非常ベルの音と緊急放送を聞き、最適ルートで公民館外門に避難しました。避難後、予防課長の野波さんから「とても整然と、安全に避難することができた。自分の命を守ることを第一に、防災意識を高めてほしい」との講評を受けました。

次に、防災講座を行いました。近年の災害事例をもとに、防災グッズが必要になるのは「いつ」「どんな時」か、という話題から始まりました。講師のお勧めグッズは、釣りをするときに着用するベストに似た「防災ベスト」で、紹介されたベストにはポケットがたくさんついており、お薬手帳や薬、マイナンバーカードやトイレシート、懐中電灯や新聞紙など、多くの防災グッズが収納されていました。また、パラコードという丈夫なひもの活用方法と風呂敷を使った応急手当の仕方やリュックの代用法などの講義もありました。参加者からは多くの質問もあり、防災についての新たな学びにつなげることもできました。



整然と避難



講評



実物を見ながら



「これはいい」

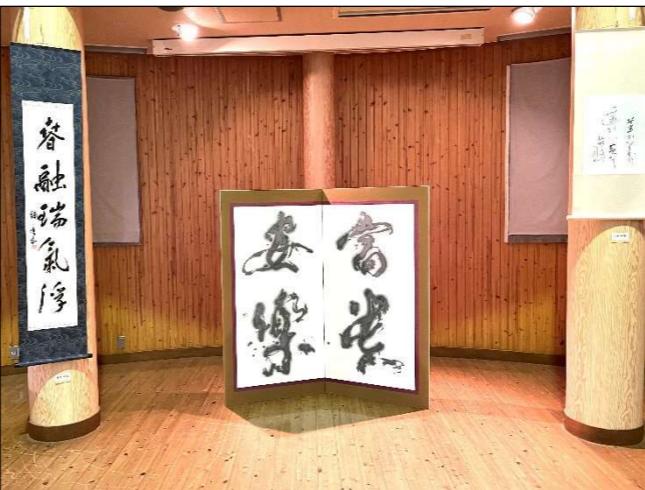
お知らせ

■「芸術の秋」展覧会を開催しました

山陽公民館では「公民館は文化の拠点の一つ」と考え、ホールで「芸術の秋」展覧会を開催しました。

この展覧会は、あかいわ文化協会の文化祭に引き続いで、書道と油絵・水彩画の作品を展示し、グループ活動などで来館したみなさんにご覧いただこうというものです。大小さまざまな作品が公民館のホールに並び、芸術の秋にふさわしい空間となりました。

「すばらしい作品を見せてもらってとてもうれしいわ」「行ったことのある景色を絵で見せてもらうと、その時の思い出がよみがえてくるわ」「実物はやっぱり素敵だわ」など、みなさんゆったりとした気持ちで、芸術の秋を満喫することができました。



お知らせ

■山陽公民館菜園の近況です

公民館グループのみなさんのお力添えのおかげで、菜園の整備が進んでいます。グループや地域の方々から、さまざまな種や苗を分けてもらい、みなさんと一緒に畑を耕し、一緒に種や苗を植えて、育てています。グループ活動のあと、草を抜いてくださる方もいれば、追肥をしてくださる方もいます。職員の気が付かないところで、手厚く世話をもらっています。ありがとうございます。

一緒に活動している中で、野菜作りについて、興味深い話を聞かせてもらっています。「私が子どものころにはなあ…」と始まり、「家の手伝いでなあ…」と続き、「なんとなあ…」と盛り上がります。初めて聞く話も多く、「へえー、そうなんですね。びっくりしました」など、とても楽しく勉強しています。

チンゲンサイや大根などは、すでにお福分けを始めています。おかげさまで、白菜、キャベツやジャガイモ、ブロッコリー、ホウレンソウなどもお福分けの準備中です。充実した体験学習です。



大根のお福分け



チンゲンサイ



ブロッコリー



白菜



キャベツ



収穫！